

解剖学特別講演会 I

演題：神経細胞における微小管系細胞骨格蛋白の機能

演者：武井 陽介

東京大学大学院医学系研究科 准教授

日時：2015 年2 月13日（金） 17:00-18 : 00

会場：学群棟 4 A 411室

要旨：

神経細胞は軸索と樹状突起という高度に分化した構造を持ち、軸索終末部は樹状突起上にシナプスを形成する。軸索・樹状突起の内部には微小管のネットワークが張りめぐらされており、様々な蛋白が微小管に結合して存在する。微小管および微小管結合蛋白の機能は従来不明な点が多かったが、微小管結合蛋白群による微小管の安定性制御が神経細胞の形態形成の鍵となっていること、微小管をレールにして細胞内物質輸送を行う KIFs (Kinesin Superfamily Proteins) と呼ばれる一群の分子モーター蛋白が神経可塑性メカニズムの基盤となっていることなどをこれまでに明らかにした。今後は環境による脳機能変化と KIFs の関わり、精神神経疾患の病態における KIFs の役割を中心に解明してゆきたいと考えている。解剖学教育については、マクロ解剖・脳解剖等の実習講義は何よりもまず医学生にとって有意義なものでなければならないと考えている。そのために日常工夫していることを中心に論じたい。

連絡先：筑波大学医学医療系 野口雅之（内線 3750）